

TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial 2024 FormulaDRIFT Race report



FORMULA DRIFT[®]



FORMULA DRIFT®

FORMULA DRIFT 第5戦は2022年に完全優勝、2023年は単走優勝を飾った会場、ミズーリ州セントルイス。リズムカルな振り返りが多いこのロードトラックは自身にとっては得意なコースの一つである。あまりの気温と湿度の高さにレースが行われるのは夜間というこのラウンドであったが、今期は日中も過ごしやすいほどの気温となり、ファン、そして関係者もほっとしていた。しかし、今期はレース開催直前に、サーキット側が急遽アウトゾーンに仮設のコンクリートウォールを設置することを決定。その壁が自身を含めた多くのドライバーに影響を及ぼすこととなった。

イベントウィークエンドのハイライト

イベント入場者数: 12,500人

ライブストリーム/イベントコンテンツ観覧者: 9,300,000 人超

ライブストリーム視聴時間: 24,000,000 分

イベントウィーク(7月17日-7月24日)におけるFormulaDRIFT 各ソーシャルメディアハイライト



フォロワー数: 2,600,000+
視聴数: 2,500,000
リーチ数: 3,700,000
エンゲージメント数: 3,300,000
インプレッション数: 11,000,000



フォロワー数: 1,800,000
視聴数: 5,700,000
リーチ数: 2,400,000
インタラクション数: 363,000
インプレッション数: 7,600,000



サブスクライブ数: 653,000
視聴数: 1,100,000
インプレッション数: 15,400,000
視聴時間: 4,000,000分

FormulaDRIFT 2024 Rd.5 Missouri St.Louis コースレイアウト

FORMULA **DRIFT** ST LOUIS, MISSOURI



FORMULA **DRIFT**®

TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial

2024 FormulaDRIFT USA Race report

FormulaDRIFT USA 2024 Rd.5 TOP32 Final Bracket

TOP 32		TOP 16		GREAT 8		FINAL 4		FINAL 4		GREAT 8		TOP 16		TOP 32	
1	James Deane													Aurimas Bakchis	2
32		Deane										Bakchis		Joao Barion	31
16	Jonathan Hurst	Hurst										Olsen		Jeff Jones	15
17	Nick Noback			Deane	Deane			Aasbo		Bakchis				Simen Olsen	18
8	Ken Gushi			Shanahan						Aasbo				Fredric Aasbo	7
25	Dmitriy Brutskiy	Gushi										Aasbo		Daniel Stuke	26
9	Conor Shanahan	Shanahan										Sorensen		Branden Sorensen	10
24	Jhonnattan Castro													Kazuya Taguchi	23
4	Dylan Hughes													Adam LZ	3
29	Derek Madison	Hughes												Ben Hobson	30
13	Ryan Tuerck	Tuerck										LZ		Rome Charpentier	14
20	Ryan Litteral			Hughes	Field							Charpentier		Trenton Beechum	19
5	Chris Forsberg			Field								Minowa		Taylor Hull	6
28	Robert Thorne	Forsberg												Mike Power	27
12	Matt Field	Field										Hull		Hiroya Minowa	11
21	Diego Higa											Minowa		Dan Burkett	22
<div style="background-color: #800000; color: white; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">FINAL BATTLE</div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> <p>James Deane</p> <p>— VS —</p> <p>Hiroya Minowa</p> </div>															

(Thursday) 2024年7月18日

公式練習走行日

インディーカーレースの開催が控えたコース、World Wide Technology Racewayにて開催されるこのラウンドでは、FormulaDRIFT開催直前にサーキット側の一方的な判断によりアウトゾーン1、アウトゾーン4の外側にそれぞれ仮設コンクリートウォールが設置されることとなった。これにはFormulaDRIFT事務局をはじめ、ドライバー全員が驚きを隠せず、練習走行の開始直前にサーキット側へ掛け合うも、変更は無し。よって、開催地は同じであるがコンクリートウォールによって道幅が制限されてしまうことから一部のコーナーはわたしたちにとって全く新しい感触を与えることとなった。

基本的なマシンセットアップは昨年同様であったが、スタート地点のシケインを通過する際、選択するギアを変更した。昨年は2速発進、シケインを抜けてすぐに3速へシフトアップを行いアウトゾーン1へ進入していたが、今期は1速発進を行い、シケイン通過中に2速へシフトアップ。そして、シケイン通過後に3速へシフトアップをするという走行方法に変更。これにより、前ラウンドのNew Jerseyで起きてしまった助走区間における無駄なホイールスピンの発生を防ぎ、進入スピードが毎週安定することによる、コンスタントな先行走行を行うことができるようになった。

練習日では、先行走行は毎週非常に安定しており、コンクリートウォール設置によるコース幅、コーナーのアールの変化、そしてドライバーに対する壁の恐怖心もすぐに克服し、大きな手ごたえを得ていた。逆に後追いでは相手の背後で振り出すタイミングと振り出し角度の感触がつかめず、振り出した瞬間に角度をつけすぎてしまい、相手に大きく離される、というミスを経験するようになってしまった。残念ながら、練習日のうちには克服することができず、土曜日のメインイベントに向けて、何度もイメージトレーニングを行い、TOP32直前の練習走行では修正できるよう入念な準備を行った。

(Saturday) 2024年7月20日

決勝トーナメント

TOP32の対戦相手はBranden Sorensen選手(BMW E46 / Nitto Tires)。昨年の最終戦アーウィンデールから突如頭角を現し、めきめきと実力をあげている注目の若手選手である。安定感には欠けるものの、スピードを生かした後追いは時に上位選手も圧倒されていた。このコースでは全体的に角度を抑えて走行しているように感じ、それ故に先行走行にスピードがある。後追いでは、相手の角度にしっかりと合わせ、離されずについていくことが求められた。

1本目は自身が後追い。慎重に、離されぬよう助走区間を走行し、アウトゾーン1へ振り出す。2台それぞれ振り出した後、先行を走行するBranden選手は外側のコンクリートウォールにテールをヒットさせ、大きく挙動を乱す。そこで若干後ろに引いてしまったわたしは、再度相手の背後に迫るべくアウトゾーン2へ標準を定める。しかし、先行のBranden選手は再びアウトゾーン2のコンクリートウォールにテールをヒットさせ挙動を乱し、わたしはその後ろで全くリズムが取れない。それどころか完全にタイミングを狂わされてしまっていた。後追いの車間距離は大きく離れてしまっていたものの、それは先行のミスによるものというジャッジがされ、アドバンテージはわたしのほうに向いていた。問題なく先行走行を行えば勝負はわたしたちのほうに有利となる状況化。入れ替えて私が先行となり、アウトゾーン1へ進入。しかし、わたしもBranden選手と全く同じ位置で壁にヒットして角度が一瞬角度が浅くなってしまった。逆に背後を走るBranden選手は彼自身の先行走行のミスを取り返すべく、スピードと慣性をもって進入してきた。そのタイミングが完全に重なり、壁へのヒット直後に角度が浅くなったわたしのもとへBranden選手が接触。わたしのマシンは壁とBranden選手のBMWと、サンドイッチ状態になりクラッシュ。Branden選手の背後からの接触はわたしの壁への接触が引き金となったというジャッジが下り、わたしたちはTOP32のバトルにてトーナメントを去ることとなった。



TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial

2024 FormulaDRIFT USA Race report

FormulaDRIFT USA 2024 TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial
協賛 / 協カスポンサー各社様

UP GARAGE

ISR
PERFORMANCE

GT RADIAL

YELLOW
SPEED RACING USA

enjukuracing

Crooover

MOTUL

ORC
Ogura Racing Clutch

TOMEI
The Engine Specialist

FRSE
FRS Speed Engineering

WISEFAB

WedsSport
RACING WHEEL

KORU WORKS

MW
MECHANIX WEAR

az rag(s)
azragus.com

DIAMOND
Pistons

2 PERFORMANCE

DEI
DESIGN ENGINEERING INC.

SUPERTECH

radium

ROCKETLEVEL

MAD
SWEDEN

BRIDE

Rocket Bunny

MAGNUS

Sendon.com

Ninja Style
MADE IN JAPAN

FORMULA DRIFT®

TEAM UP GARAGE ISR Performance GT Radial
2024 FormulaDRIFT USA Race report